

つくばセントラル病院

病院の概要

開設 | 1988年12月
開設者 | 社会医療法人 若竹会
院長名 | 金子 剛
病床数 | 313床
標榜科 | 内科、外科、消化器科、整形外科、泌尿器科、小児科、循環器科、呼吸器科、脳神経外科、産婦人科、歯科、歯科口腔外科、眼科、診療内科、精神科、神経内科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、腫瘍放射線科

医師数 | 64人（歯科医を含む）
指導医数 | 70人
研修医数 | 2人

研修医の主な出身大学 | 東北大学、新潟大学、金沢医大、富山大学

外来患者数 | 310.8人/日
入院患者数 | 248.2人/日

募集要項

応募資格 | 2023年3月国家試験合格見込者及び取得者
採用人数 | 5名
試験日程 | 2022年8月頃から（予定）
選考方法 | 面接、小論文
処遇 | ■身分：正職員
 ■給与：1年次基本給40万円 その他諸手当を含む年収約522万4千円（時間外勤務手当は別途支給）
 2年次基本給45万円 その他諸手当を含む年収約587万7千円（時間外勤務手当は別途支給）
 ■社会保険：健康・厚生年金・雇用・労災
 ■宿舎：有り
 ■その他：住宅手当/無

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日・土）
 ■対象…全学年
 ■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
 ■問い合わせ先
 担当者：総務課 高野
 TEL：029-872-1771
 FAX：029-874-4763
 E-mail：masaki.takano@central.or.jp



応募・問合せ先

つくばセントラル病院

〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1589-3
 担当者：総務課 高野 匡規
 TEL：029-872-1771
 FAX：029-874-4763
 E-mail：masaki.takano@central.or.jp
 URL：http://www.central.or.jp



■JR常磐線牛久駅下車 バスで10分
 牛久駅東口より企業バスを運行
 ■圏央道つくば牛久ICより車で15分

女性医師支援

・24時間対応託児所あり
 ・短時間正社員制度あり
 ・医師70人中21人が女性医師
 ・病児保育体制有



研修プログラムの特色

1. 医療機能評価認定病院、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、県南透析医療の拠点病院、総合リハビリテーションセンター等の病院機能の特徴を活かし、始祖的な臨床能力を習得する。
2. 選択研修として希望診療科のローテーションが可能。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			外科	選択必修	小児科
2年次	小児科	選択必修	産婦人科	地域	精神科		選択					

※各研修医の研修計画によって診療科の順序は異なります。また、選択必修は、外科・麻酔科・小児科（院外）・産婦人科・精神科（院外）から選択
 ※院外：宮本病院（精神）
 筑波メディカルセンター病院（小児科）
 筑波大学附属病院（全科）

専門研修の募集について

後期研修プログラムは提供しておりませんが、適切な進路指導をいたします。

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定教育施設
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本循環器学会研修関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会教育関連認定施設
- ・日本アフェシス学会認定施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本医学放射線学会修練機関
- ・日本脳神経外科学会連携施設
- ・日本外科学会専門医制度修練施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本手外科学会認定研修施設
- ・日本産科婦人科学会卒後研修指導施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- ・日本口腔ケア学会認定施設

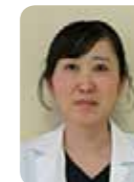
病院からメッセージ



竹島 徹 理事長

かつて先輩医師から言われました。「入局したばかりの2年間の修練時代は医師の骨格を作る時だ。医師として一生が決まる本当に大切な時代だ」と。そのことは、現在の初期研修制度の時代であっても真実であると思います。

わが社会医療法人は「一人の人を大切に医療に徹する」との法人理念のもとに地域密着、急性期医療、プライマリケアと専門病院としての機能の充実に努めています。機能評価、県南透析医療の拠点病院、周産期医療、リハビリ医療などの特色に加え、医療と介護の複合体連携の強みを利用して、プライマリケアを遂行できる臨床研修プログラムとします。



2年目 研修医師 根本 彩

私は生まれも育ちも茨城県で、医師になったら地元の医療に少しでも貢献したいと思っていたのと、自由な雰囲気ひかれて当院での研修を決めました。当院の研修医は少人数なので、研修プログラムも自分に合わせてカスタマイズすることができます。科によっては外病院での研修も可能です。私も1年目と2年目に数ヶ月間、大学病院で研修をさせていただきました。また、先生方やコメディカルの方々もアットホームで大変研修しやすい雰囲気の中、研修をさせていただいています。一度見学にいらしてください。